

東京団地倉庫

倉庫の空きスペース情報を公開



東京団地倉庫(本社・東京都江東区、高橋久夫社長)は14日、オープン型空きスペース・マッチング・サイトを(写真)を開設した、と発表した。倉庫の空きスペース情報を公開し、荷主を募集するもので、情報の公開対象をテナントから一般荷主に拡大した。

同社は倉庫会社94社の共同出資により約50年前に設立され、東京23区内4カ所(平和島、板橋、足立、葛西)の流通業務団地に保有する大規模倉庫を株主に賃貸。一昨年策定した中長期経営計画に基づき、多数の倉庫会社が入居する共同倉庫のメリットをさらに発揮するため、

「物流支援業務」の拡充に取り組んでいる。

今回、その中心的施策として行ってきた「再保管に係る空きスペース・マッチング・サービス」の対象をテナントだけでなく、一般荷主等にも広げることとした。「空きスペース・マッチング・サービス」は、東京団地倉庫のテナントが、東京団地倉庫所有の倉庫でスペースが空き、荷主を求めている場合、同社ホームページに情報掲載することによってマッチングを図るもの。

これまでは専用パスワードを使用してテナント間のみで行ってきたが、一部テナントからは広く一般荷主等に対しても「空きスペース情報」を公開してほしいとの要望があり、このほどパスワード不要のオープン型サイトを開設することとなった。

同社では「4カ所の倉庫はいずれも23区内の交通至便な立地に存し、延床面積約15万坪に達する。これら施設が最大限活用され、テナントの収益向上の一助になればいいと考えている」としている。